

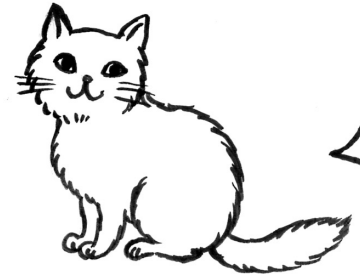
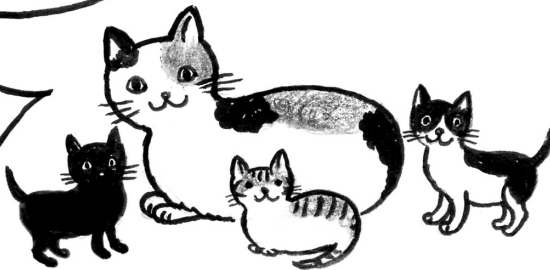
人とくらすようになったネコは、自然な交配により、さまざまな毛の色・長さ・模様、体系、目の色のネコが生まれていきました。それらすべてを『イエネコ(ドメスティックキャット)』とよびます。



まっ白な毛が
じまんよ。
長いしっぽも!

しまよう、
つよそうだろ!
みじかいしっぽが
おきにいりさ

わたしのこどもたち
いろんな色のこが
いるのよ。



フワフワした長い毛、
すてきでしょ。
ニンゲンは、エシガントねって
いうのよ。

やがて人は、ネコたちに、自分の好みの毛色や体系、目の色を求めようになりました。

人為的に交配をさせるようになったのは100年以上前、ヴィクトリア時代のこと。

ネコたちには血統書がつけられ、貴族たちはキャットショーを行なってはネコを競い、自慢しあいました。

わたしのネコは
ショーでチャンピオン
をとったじまんの
ネコですよ。



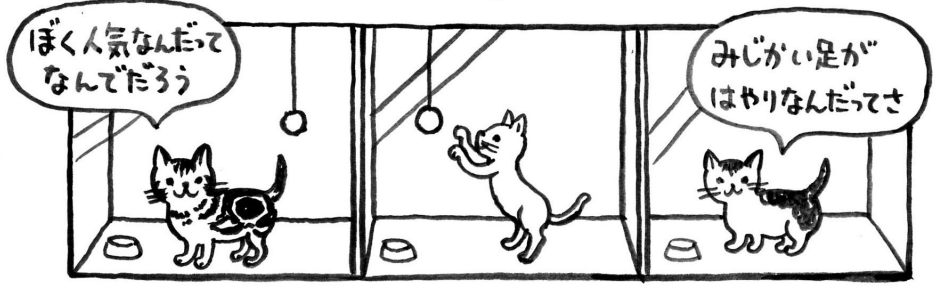
そして時が流れ、いつしか人は、交配したネコでお金をもうけるようになりました。新しい特徴のネコを作り出しては、流行を作りました。まるで、ファッション業界と同じように。



どんどん産ませて
金もうけしてやるぜ

無理な交配、近親交配により、血が濃くなっていき、遺伝性の病気を発症しやすいネコも産まれてきました。

とくに日本では、そのような繁殖が多くみられるそうです。



ぼく人気なんだって
なんてだろう

みじかい足が
はやりなんだってさ

産まれた子ネコの中には、その特徴がちゃんと出ておらず、商品とはならないコもいるという現実があります。